|  |  |
| --- | --- |
| 令和2年度（2020年度）用 | 小学校国語科用 |

|  |
| --- |
| 「新しい国語」**臨時休業明けの****年間指導計画参考資料****【５年】** |

令和2年（2020年）7月版

※本資料は，令和２年度用「新しい国語」に基づいて，学校での授業と，学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を，一例として示したものです。地域や学校の状況に応じて，適宜ご活用いただければ幸いです。なお，学習内容を年度内に終えることが困難な場合は，次年度に送る等の対応も考えられます。各学校の状況に応じて，適切にご判断ください。また，次年度に送る場合には担当教員間の引き継ぎにご配慮ください。

東京書籍

**単元の指導計画案**

・太枠…感染症対策の観点から指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動が含まれる単元。

・各単元の評価計画案は，弊社ウェブサイトで公開している「令和２年度　年間指導計画作成資料」をご覧ください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **５年** |  |  |  |  |  |
| 単元・教材・配当時数教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動（概要・時数） | 学校での授業時数 |
| この言葉、あなたならどう考える２時間（話聞２）教科書：P.10～11 | ●話の内容が明確になるように，互いに考えを伝え合うことができる。◇互いに考えを伝え合う。A⑵ウ--------------------------------------１　教科書の対話例を見て，話の内容が明確になるように，互いに考えを伝え合うという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。２　心に残っている言葉を紹介して，その言葉について考えたことを互いに伝え合う。３　対話をして気付いたことを出し合う。４　どのような点に気を付けて考えを伝え合ったかを振り返る。 | ・〈１の一部〉教科書の例を読み，考えを広げるためにどのようなやり取りをしているかを考えて，ノートにまとめる。（※考えの交流は学校授業）【0.5時間（話聞0.5）】 | 1.5時間 |
| 事実と考えを区別しよう２時間（書２）教科書：P.12～13 | ●事実を客観的に書くとともに，その事実と考えとの関係を捉えて，事実と考えとを区別して書くことができる。◇事実と考えを区別して，表に整理して書く。B⑵ア--------------------------------------１　教科書P.12・13のグラフから分かる事実と考えられることを書いて，事実と考えを区別するという学習課題を確かめる。２　教科書P.12のグラフから分かる事実と考えられることを書き，書いたものを見せ合って，気づいたことを話し合う。３　教科書P.13のグラフから分かる事実と考えられることを書き，書いたものを見せ合って，気づいたことを話し合う。４　事実と考えを区別して書くことについて，学習したことを振り返る。 | ・〈２の一部〉教科書の二つのグラフから分かる事実をそれぞれ考えて，ノートに書く。（※考えの交流は学校授業）【１時間（書１）】 | １時間 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元・教材・配当時数教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動（概要・時数） | 学校での授業時数 |
| 人物の思いを音読で伝えようだいじょうぶ　だいじょうぶ４時間（読４）教科書： P.16～27 | ●登場人物の相互関係や心情を描写を基に捉え，登場人物の思いが伝わるように音読をすることができる。◇物語を音読する。C⑵イ--------------------------------------つかむ１　これまでに学習したことを振り返って，登場人物の思いが伝わるように音読をするという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。取り組む２　「だいじょうぶ、だいじょうぶ。」という言葉に込められた思いを想像する。３　自分が音読したいところを選び，「ぼく」とおじいちゃんの思いが表れるように，音読を工夫する。４　音読を聞き合い，感想を伝え合う。振り返る５　想像したことを表すためにどのような音読の工夫をしたかを振り返り，身につけた「言葉の力」を確かめる。 | ・〈１の一部〉物語を音読し，読んだ感想をノートに書く。（※感想の交流は学校授業）【１時間（読１）】 | ３時間 |
| 図書館へ行こう２時間（知技２）教科書：P.28～31 | ●日本十進分類法について理解を深めるとともに，図書館に置かれている様々な種類の本や資料について理解することができる。--------------------------------------１　日本十進分類法について理解を深め，図書館にある様々な種類の本や資料について確かめるという学習の見通しを立てる。２　図書館にはどのような種類の本や資料が置かれているかを確かめ，それらの活用方法について考える。３　学習を振り返る。 | ・〈１の一部〉教科書を読んで日本十進分類法について確かめ，図書館の本がどのように分類されているかを知る。【１時間（知技１）】※図書館を実際に利用する活動を別の時期に行うか，適切な時期に単元の学習時期を移動させることが考えられる。 | 1時間 |
| 筆者の伝えたいことをまとめよう動物たちが教えてくれる海の中のくらし７時間（読５書２）教科書：P.32～43 | ●文章全体の構成を捉えて要旨を把握し，まとめることができる。◇文章を読んで分かったことを文章にまとめる。C⑵ア--------------------------------------つかむ１　これまでに学習したことを振り返って，文章の構成を捉えて要旨をまとめるという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。取り組む２　文章に書かれている内容を，叙述を基に押さえる。３　文章の構成を考えながら読み，読み取ったことを整理する。４　文章の要旨をまとめ，読み合う。５　まとめた要旨を基に，考えたことを伝え合う。振り返る６　文章の要旨をまとめるためにどのような点に注目したかを振り返り，身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え，これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。 | ・〈１の一部〉語句の意味を辞書で調べながら教材文を音読して，感想をノートに書く。（※感想の交流は学校授業）【１時間（読１）】 | 6時間 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元・教材・配当時数教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動（概要・時数） | 学校での授業時数 |
| 漢字の成り立ち２時間（知技２）教科書：P.44～45 | ●漢字の成り立ちを理解することができる。--------------------------------------１　漢字の成り立ちを理解するという学習課題を確かめる。２　漢字の四種類の成り立ちを知る。３　教科書の練習題に取り組んだり，他の漢字について漢字辞典を利用して成り立ちを調べたりする。４　漢字の成り立ちについて，学習したことを振り返る。 | ・〈３の一部〉漢字辞典を利用して，教科書の練習題に取り組む。（※解答の確認は学校授業）【0.5時間（知技0.5）】 | １.5時間 |
| 知りたいことを聞き出そう４時間（話聞４）教科書：P.46～49 | ●自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉えながら聞き，自分の考えをまとめることができる。◇インタビューをして，必要な情報を集める。A⑵イ--------------------------------------つかむ１　これまでに学習したことを振り返って，意図を明確にして聞くという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。取り組む２　インタビューをするときに気を付けることを確かめる。３　話を聞く意図や目的を確かめ，インタビューで聞きたいことを考え，整理する。４　６年生にインタビューを行う。５　インタビューで知ったことを基に，自分の考えをまとめる。振り返る６　話を聞き出すためにどのようなことに気をつけて聞いたかを振り返り，身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え，これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。 | ・〈２の一部〉教科書P.48の「石川さんのインタビュー」の音声を聞き，どのようにインタビューをするとよいかを考え，ノートに書く。（※各児童がDマークコンテンツ等を使用できる場合に限る。また，考えの交流は学校授業。）【１時間（話聞１）】※異学年の児童へのインタビュー活動が含まれるため，適切な時期に単元の学習時期を移動させることが考えられる。 | ３時間 |
| 環境問題について報告しよう７時間（書７）教科書：P.50～55 | ●集めた資料を活用し，引用したり図表やグラフなどを用いたりして，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書くことができる。◇資料を用いて，調べたことを報告する文章を書く。B⑵ア--------------------------------------つかむ１　これまでに学習したことを振り返って，資料を活用して報告するという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。取り組む２　テーマを決めて調べ，分かったことを整理する。３　資料を効果的に使うことに気をつけ，調べたことを報告する文章の構成を考え，考えた構成を基に文章を書く。４　評価を伝え合い，文章を手直しする。振り返る５　資料を用いて文章を書く時にどんなことに気をつけたかを振り返り，身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え，これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。 | ・〈２の一部〉環境問題について，どんなことを調べたいかを考え，ノートに書く。（※考えたことの交流や，テーマの決定は学校授業）【１時間（書１）】 | 6時間 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元・教材・配当時数教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動（概要・時数） | 学校での授業時数 |
| 山場で起こる変化について考えよう世界でいちばんやかましい音７時間（読５書２）教科書：P.56～73 | ●物語の構成を捉えて物語の全体像を具体的に想像し，読み取ったことに基づいて自分の考えをまとめることができる。◇物語を読み，自分の考えを伝え合う。C⑵イ--------------------------------------つかむ１　これまでに学習したことを振り返って，物語の構成を捉え，山場で起こる変化について考えるという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。取り組む２　「世界でいちばんやかましい音」を読み，物語の構成を捉える。３　山場を中心に，物語全体を通して起こった変化について考え，考えたことを友達と伝え合い，感想や考えをまとめる。振り返る４　単元の学習を通して考えたことを振り返り，身につけた「言葉の力」を確かめる。 | ・〈２の一部〉物語がいくつの場面に分けられるかを考え，ノートに書く。（※場面分けの確認は，学校授業で行う）・〈３の一部〉「始まりの場面」と「終わりの場面」を比較して，町や人々の変化について考えたことをノートに書く。（※考えの交流や話し合いは学校授業）【1.5時間（読1.5）】 | 5.5時間 |
| 文の組み立てをとらえよう　・ことばあつめ２時間（知技２）教科書：P.74～77 | ●文の中での語句の係り方について理解することができる。--------------------------------------１　文の構成を捉えるという学習課題を確かめる。２　教科書の文例を読み，主語，述語の関係を押さえる。３　教科書の練習題に取り組む。４　文の構成について，学習したことを振り返る。 | ・〈３の一部〉教科書の練習題に取り組む。（※解答の確認は学校授業）・P.76「ことばあつめ」に取り組む。【0.5時間（知技0.5）】 | 1.5時間 |
| 書き手の意図を考えよう新聞記事を読み比べよう６時間（読４書２）教科書：P.78～89 | ●文章全体の構成を捉えたり文章と図表などを関係付けたりして要旨を把握して，書き手の意図について考えることができる。◇二つの新聞記事を読み比べ，考えたことを話し合う。C⑵ア--------------------------------------つかむ１　これまでに学習したことを振り返って，記事の書き手の意図を読み取るという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。取り組む２　教科書P.80～83を読み，新聞の特徴や役割，記事の構成と写真の役割を理解する。３　P.84・85のＡ社とＢ社の記事を読み比べ，共通点や相違点を基に書き手の意図を考えて話し合う。 ４　書き手の意図と関係付けながら，記事と写真の関係を読み取る。５　新聞を持ち寄り，記事と写真に合った見出しを書く。振り返る６　どのようにして書き手の意図を読み取ったかを振り返り，身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え，これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。 | ・〈２の一部〉教科書P.80～83を読み，新聞の特徴や役割などをノートにまとめる。（※まとめたことの発表や交流は学校授業）・〈５の一部〉新聞を読み，写真とともに掲載されている記事を選ぶ。【２時間（読１書１）】 | ４時間 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元・教材・配当時数教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動（概要・時数） | 学校での授業時数 |
| 本は友達２時間（知技２）教科書：P.90～97 | ●読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付き，好きな本を探して読むことができる。--------------------------------------１　教科書の読書体験文を読み，読書の楽しさや意義を知る。２　「五年生の本だな」や，P.96・97で紹介している本などを参考にして，好きな本を探して読む。３　読書の楽しさや意義について，学習したことを振り返る。 | ・〈２，３の一部〉学習課題に沿って，読みたい本を探し，読書記録を付ける。【1.5時間（知技1.5）】 | 0.5時間 |
| 詩を読もう紙風船/水のこころ２時間（読２）教科書：P.100～103 | ●詩の全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりし，想像したことが伝わるように工夫して音読することができる。◇詩を音読する。C⑵イ--------------------------------------１　詩から想像したことが伝わるように音読するという学習課題を確かめる。２　詩を音読し，想像したことや気付いたことを発表する。 ３　詩の表現の工夫について考える。４　想像を広げながら，工夫して詩を音読する。５　詩の全体像を想像することや表現の工夫について，学習したことを振り返る。 |  | 2時間 |
| 問題を解決するために話し合おう　・生活の中の言葉５時間（話聞５）教科書：P.104～113 | ●意図を明確にしながら計画的に話し合い，考えを広げたりまとめたりすることができる。◇それぞれの考えを伝えるなどして話し合う。A⑵ウ--------------------------------------つかむ１　これまでに学習したことや自分たちの普段の話し合いを振り返って，意図を明確にしながら話し合うという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。取り組む２　身の回りにある問題から解決したいものを探して，議題を設定する。３　話し合いの計画を立てる。４　意図を明確にして，グループで計画的に話し合う。振り返る５　どのようなことに気をつけて話し合いを進めたかを振り返り，身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え，これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。 | ・〈２の一部〉教科書の例を参考に，身の回りにある問題の中から，議題にしたいことを考えてノートに書く。（※話し合いや議題の選定は学校授業）【0.5時間（話聞0.5）】 | 4.5時間 |
| 敬語の使い方２時間（知技２）教科書： P.114～115 | ●敬語を理解し，相手や場面に応じて適切に敬語を使うことができる。--------------------------------------１　敬語について知るという学習課題を確かめる。２　敬語の種類や使い方を理解する。３　敬語に書き換える練習題に取り組んだり，敬語を使った会話文を作ったりして，敬語の使い方について理解を深める。４　敬語の使い方について，学習したことを振り返る。 | ・〈３の一部〉敬語を使った会話文を考えてノートに書く。（※書いた文の確認や交流は学校授業）【0.5時間（知技0.5）】 | 1.5時間 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元・教材・配当時数教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動（概要・時数） | 学校での授業時数 |
| 物語のおもしろさを解説しよう注文の多い料理店８時間（読５書３）教科書：P.116～135 | ●人物像や物語の全体像を想像したり，表現の効果を考えたりし，見つけたおもしろさを解説する文章を書くことができる。◇物語のおもしろさを解説する文章を書く。C⑵イ--------------------------------------つかむ１　これまでに学習したことを振り返って，表現の工夫を見つけて物語のおもしろさを解説する文章を書くという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。取り組む２　「注文の多い料理店」を読み，物語の構成を確かめ，物語をおもしろくしている表現や仕掛けの工夫を探す。３　おもしろさの秘密を解説する文章を書き，友達と読み合う。振り返る４　どのような表現がおもしろいと思ったかを振り返り，身につけた「言葉の力」を確かめる。 | ・〈２の一部〉「不思議な世界」の入り口と出口がどこかを考えてノートに書く。（※交流を経ての確認は学校授業）・〈３の一部〉物語のおもしろさの秘密を解説する文章を書く。（※文章を読み合い交流するのは学校授業）【1.5時間（読0.5書１）】 | 6.5時間 |
| 古文に親しむ３時間（書１読２）教科書：P.136～141 | ●古文を読んで気づいたことや感じたことについて話し合ったり，自分の考えを書いたりして，自分の考えを広げることができる。--------------------------------------１　古文を読んで気付いたことや感じたことを話し合ったり，自分の考えを書いたりするという学習課題を確かめる。２　「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「おくのほそ道」をそれぞれ音読し，言葉の響きを味わう。３　四つの古文から好きなものを一つ選び，気付いたことや感じたことについて，同じ作品を選んだ友達と話し合う。４　選んだ古文について，自分の考えを書く。５　古文の言葉の響きについて，学習したことを振り返る。 | ・〈２の一部〉教科書の古文の朗読音声を聞き，言葉の響きやリズムを感じながら古文を音読する。（※各児童がDマークコンテンツ等を使用できる場合に限る）【１時間（読１）】 | ２時間 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元・教材・配当時数教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動（概要・時数） | 学校での授業時数 |
| 和の文化について調べよう和の文化を受けつぐ――和菓子をさぐる　・さまざまな資料を活用しよう１３時間（読８書５）教科書：P.142～157 | ●文章と資料を結び付けるなどして必要な情報を見つけたり，論の進め方について考えることができる。●目的に応じて資料を活用し，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書くことができる。◇調べたことを報告するパンフレットを作る。C⑵ウ--------------------------------------つかむ１　これまでに学習したことを振り返って，必要な情報を見つけたり，資料を使って説明したりするという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。取り組む２　「和の文化を受けつぐ」を読んで,筆者の説明の仕方を読み取る。３　「和の文化」について説明する観点に沿って調べ,情報を集める。４　情報を整理して報告の文章を書き,パンフレットを作る。振り返る５　どうやって必要な情報を集めたかや，分かりやすく説明するためにどのように資料を使ったかを振り返り，身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え，これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。 | ・〈４の一部〉授業で考えたパンフレットの構成に沿って，報告の文章を書く。（※読み合って交流したり助言したりするのは学校授業）【1時間（書１）】 | １２時間 |
| 伝えたい、心に残る言葉５時間（話聞５）教科書：P.158～163 | ●目的や意図に応じて，話の構成や表現を工夫して，伝えたいことが印象に残るように話すことができる。◇心に残っている言葉について，みんなの前で話す。A⑵ア--------------------------------------つかむ１　これまでに学習したことを振り返って，伝えたいことが印象に残るように話すという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。取り組む２　心に残っている言葉を思い起こし，伝えたい言葉を決め，話すための材料を集める。３　伝えたいことが印象に残るように，話の構成を考えて，話す練習をする。４　みんなの前で話す。振り返る５　話の構成や表現をどのように工夫して話したかを振り返り，身につけた「言葉の力」を確かめる。 | ・〈２の一部〉これまでの経験から心に残っている言葉を思い出して伝えたい言葉を決め，材料を集める。（※決めた言葉や集めた材料の交流は学校授業）【1時間（話聞1）】 | 4時間 |
| 和語、漢語、外来語　・話し言葉と書き言葉２時間（知技２）教科書：P.164～167 | ●和語，漢語，外来語の由来や区別について関心を持つことができる。--------------------------------------１　和語，漢語，外来語について，由来や特徴を知るという学習課題を確かめる。２　和語，漢語，外来語について理解する。３　教科書の練習題に取り組み理解を深める。４　和語，漢語，外来語について，学習したことを振り返る。 | ・〈３の一部〉身近な外来語を集め，国語辞典等を活用して，どの国の言葉だったのかを調べる。（※調べたことの交流は学校授業）【0.5時間（知技0.5）】 | 1.5時間 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元・教材・配当時数教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動（概要・時数） | 学校での授業時数 |
| 朗読で表現しよう大造じいさんとがん８時間（読６書２）教科書：P.168～185 | ●描写を基に中心人物の人物像を具体的に想像することができる。◇物語を読んで印象に残った場面を朗読する。C⑵イ--------------------------------------つかむ１　これまでに学習したことを振り返って，人物像を想像し，印象に残った場面を朗読で表現するという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。取り組む２　「大造じいさんとがん」を読み，大造じいさんの人物像を想像する。３　物語を読んでいちばん印象に残ったところを選び，朗読で表現する。４　友達と互いの朗読を聞き合い，それぞれのよさや，感じ方や考え方の違いを伝え合う。振り返る５　思ったことや考えたことを朗読でどのように表現したかを振り返り，身につけた「言葉の力」を確かめる。 | ・〈３の一部〉どのように朗読するかを考え，朗読の練習をする。（※互いに聞き合ったり助言したりするのは学校授業）【１時間（読１）】 | 7時間 |
| 反対の立場を考えて意見文を書こう　・文章の種類６時間（書６）教科書： P.186～193 | ●自分の意見とその理由，反対意見への対応を明確にして，文章全体の構成や展開を考　え，筋道の通った文章を書くことができる。◇意見文を書く。B⑵ア--------------------------------------つかむ１　これまでに学習したことを振り返って，反対意見を考えて意見文を書くという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。取り組む２　「クラスをよりよくしていくにはどうすればよいか」という話題に対して，自分の意見とその理由，反対意見とその対応を考える。３　自分の意見と予想される反対意見を確かめて，二人組またはグループで意見を交流する。４　説得力のある文章になるように構成を考え，構成メモを作る。５　構成メモを基に意見文を書いて友達と読み合い，感想を伝え合う。振り返る６　説得力を持たせるために，どんなことに気をつけて書いたかを振り返り，身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え，これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。 | ・〈２の一部〉話題に対する自分の意見とその理由をノートに書く。【１時間（書１）】 | ５時間 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元・教材・配当時数教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動（概要・時数） | 学校での授業時数 |
| 友達といっしょに、本をしょうかいしよう２時間（読２）教科書：P.194～197 | ●本と本とのつながりを見つけ，本を紹介し合い，読書生活を広げることができる。◇グループで本を紹介する。--------------------------------------つかむ１　これまでに学習したことや読書の経験を振り返って，本と本とのつながりを見つけて，グループで本を紹介するという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。取り組む２　グループでつながりのある本の紹介の仕方を考える。３　テーマや本と本とのつながりを意識しながら，グループの発表を聞き合う。振り返る４　友達が紹介した本の中で読んでみたいと思った本について振り返り，身につけた「言葉の力」を確かめる。 | ・〈１の一部〉これまで読んだ本の中から，グループで紹介する候補を考える。【0.5時間（読0.5）】 | 1.5時間 |
| 古文のえがく四季３時間（書２読１）教科書：P.200～203 | ●古文とその解説文を読み，昔の人のものの見方や感じ方について，現代の自分たちと比べて考えることができる。--------------------------------------１　「枕草子」とその解説文を読み，昔の人のものの見方や感じ方について，自分たちと比べてみるという学習課題を確かめる。２　「枕草子」の作者のものの見方や考え方を，自分たちと比べながら捉える。３　四つの季節の中から好きなものを選び，自分が感じるその季節のよさを文章に書く。４　書いた文章を読み合い，感想を伝え合う。５　昔の人のものの見方や感じ方について，学習したことを振り返る。 | ・〈２の一部〉教科書の古文の朗読音声を聞き，音読する。（※各児童がDマークコンテンツ等を使用できる場合に限る）・〈３の一部〉好きな季節のよさを感じるものを取り上げて文章を書く。（※書き方の確認や書いた文章の交流は学校授業）【1.5時間（書１読0.5）】 | 1.5時間 |
| 心が動いたことを三十一音で表そう４時間（書４）教科書： P.204～209 | ●生活経験から題材を選び，全体の構成や書き表し方などに着目して，表現を整えて書くことができる。◇感じたことについて短歌を作る。B⑵イ--------------------------------------つかむ１　これまでに学習したことを振り返って，発見や感動を短歌で表すという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。取り組む２　生活の中で心が動いたことを思い出し，連想メモを使って題材を集め，表現を工夫して，短歌を作る。振り返る３　短歌を読み合い，どんな表現の工夫をして短歌を作ったかを振り返り，身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え，これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。 | ・〈２の一部〉連想メモを使って，短歌の題材になりそうなことを書き出す。（※短歌に取り上げる場面の選定は学校授業）【0.5時間（書0.5）】 | 3.5時間 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元・教材・配当時数教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動（概要・時数） | 学校での授業時数 |
| 熟語を使おう　・ことばあつめ２時間（知技２）教科書：P.210～213 | ●熟語の構成や使い方について理解することができる。--------------------------------------１　熟語の構成や使い方について知るという学習課題を確かめる。２　構成の五つの型を確かめる。３　漢字の読み方と意味の関係を確かめる。４　教科書の練習題に取り組み，理解を深める。５　熟語の構成や使い方について，学習したことを振り返る。 | ・〈４の一部〉教科書の練習題に取り組む。（※解答の確認は学校授業）・P.212「ことばあつめ」に取り組む。【0.5時間（知技0.5）】 | 1.5時間 |
| テクノロジーの進歩について考えよう「弱いロボット」だからできること７時間（読５書２）教科書：P.214～225 | ●あるテーマについて，異なる面から見た複数の文章を読んだり自分の経験や知識と照らしたりしながら多角的に捉え，自分の考えを深めることができる。◇文章を読んで考えたことをまとめる。C⑵ア--------------------------------------つかむ１　これまでに学習したことを振り返って，書かれていることを多角的に捉えるという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。取り組む２　「『弱いロボット』だからできること」を読み，書いてあることを確かめたり，「資料」の内容について考えたりする。３　テクノロジーと私たちの関わりについて話し合い，自分の考えをまとめる。振り返る４　テクノロジーと私たちの関わりについて，自分の考えをまとめた文章を書き，本単元の学習を振り返る。 | ・〈２の一部〉教材文と「資料」の二つの文章を読み，テクノロジーについての自分なりの考えをノートに書く。（※詳細な読解や，考えの交流は学校授業）【１時間（読１）】 | ６時間 |
| 資料を見て考えたことを話そう５時間（話聞５）教科書：P.226～231 | ●自分の考えが明確に伝わるように，話の構成を考え，資料と関係付けて話すことができる。◇資料から分かったことを基に，自分の考えをまとめて発表する。A⑵ア--------------------------------------つかむ１　これまでに学習したことを振り返って，資料から分かったことを基に，自分の考えを発表するという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。取り組む２　資料を読み，自分の考えをまとめる。３　最も伝えたいことは何か，どの資料からどういうことを考えたのかが明確になるように，話の構成を考え，発表の練習をする。４　資料と関係付けて自分の考えを発表する。振り返る５　自分の考えを明確に伝えるために，どんなことに気をつけて話の構成を考えたり資料を使ったりしたかを振り返り，身につけた「言葉の力」がどんな場面に役立つかを考え，これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。 | ・〈２の一部〉教科書P.226・227の資料を読み，分かったことをノートにまとめる。【１時間（話聞１）】 | ４時間 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元・教材・配当時数教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動（概要・時数） | 学校での授業時数 |
| 日本語と外国語　・方言と共通語４時間（書４）教科書： P.232～237 | ●日本語と外国語を比べ，日本語の特徴に気付くことができる。◇様々な国の言葉について調べ，分かったことや考えたことをまとめる。--------------------------------------１　日本語と外国語を比べ，日本語の特徴を考えるという学習課題を確かめる。２　音と文字の関係から，日本語の特徴を捉える。３　文の組み立てと語順から，日本語の特徴を捉える。４　ほかの国の言葉について調べ，分かったことや考えたことをまとめる。５　日本語と外国語について，学習したことを振り返る。 | ・〈２の一部〉教科書にある日本語と英単語それぞれの発音を聞き比べて，違いを考えてノートに書く。（※各児童がDマークコンテンツ等を使用できる場合に限る。また，考えの交流は学校授業）【0.5時間（書0.5）】 | 3.5時間 |
| 伝記を読んで感想文を書こう手塚治虫７時間（読５書２）教科書：P.238～255 | ●伝記に描かれている人物の考えや生き方を読み取り，自らの考えを深めることができる。◇伝記を読み，感想文を書く。C⑵イ--------------------------------------つかむ１　これまでに学習したことを振り返って，伝記に描かれている人物の考えや生き方を読み取り，感想文を書くという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。取り組む２　手塚治虫の考えや生き方を読み取る。３　興味を持った人物の伝記を読み，感想文を書く。振り返る４　どのような人物の，どのような生き方について感想文を書いたかを振り返り，身につけた「言葉の力」を確かめる。 | ・〈３の一部〉自分の読んできた伝記を読み返し，感想メモを作る。（※メモをもとに感想文を書くのは学校授業）【１時間（書１）】 | ６時間 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 単元・教材・配当時数教科書ページ | ●単元の目標／◇言語活動主な学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動（概要・時数） | 学校での授業時数 |
| 「わたしの文章見本帳」を作ろう４時間（書４）教科書： P.256～259 | ●さまざまな文種の特徴やよさに気づくとともに，これまでに書いた文章を別の種類の文章に書き換えることができる。◇書いた文章を分類整理し，文章見本帳を作る。--------------------------------------つかむ１　これまでに学習したことを振り返って，文章のよさを見つけて生かし，別の種類の文章に書き換えるという学習課題を明確にし，学習の見通しを立てる。取り組む２　一年間で書いた文章を，種類ごとに整理する。３　書いた文章の中から一つ選び，文章の種類を換えて書き，文章見本帳を作成する。振り返る４　文章見本帳を友達と読み合い，文章の種類によって，書く時に気をつけることや工夫することにはどんな違いがあったかを振り返り，身につけた「言葉の力」を確かめる。 | ・〈２の一部〉これまでに自分が書いてきた文章を，種類ごとに整理する。【0.5時間（書0.5）】 | 3.5時間 |